

ダムの用語集

1)ダム・河川一般

ダム用語	読み方	説明
右岸・左岸	うがん・さがん	河川において、下流の方向(流れる方向)に向いて、右側が「右岸」、左側が「左岸」と言います。
貯水池	ちよすいち	ダムによって川がせき止められてできた人工的にできた湖のこと。ダム湖ともいう。
多目的ダム	たもくてきだむ	洪水の防止、発電、工業、灌漑用水などの目的のうち一つのダムで複数の役割を持つダムのこと
洪水	こうずい	ダムでいう洪水とは、上流からダム貯水池への流量がいつもより多い場合の事を言います。そのため河川が氾濫してなくてもそう呼びます。
洪水調節	こうずいちようせつ	ダムなどの貯水池に、洪水の水の全部または一部を貯めることで、ダムの下流での洪水を未然に防いだり、被害を軽くしたりすること
洪水期	こうずいき	梅雨の時期や台風の時期(主に6月～10月の期間)など、雨が多く洪水が起こりそうな時期のこと。その為、洪水期の直前にダムの貯水位は一般に低くして貯める準備をします。
非洪水期	ひこうずいき	主に冬の時期など、雨が比較的少ない時期のこと。貯水池の水位は高くなっています。
ダムサイト	だむさいと	ダムが造られる場所のこと
湛水面積	たんすいめんせき	常時満水位(※以下に説明)時に貯まっている時のダム湖の水面の面積のこと
集水面積	しゅうすいめんせき	ダム湖に流れ込む雨が降る地域の面積のこと。
堤高	ていこう	ダムの高さのこと。基礎地盤からダムの一番上までの高さを言います。
堤体	ていたい	ダム本体のこと。
堤体積	てたいせき	ダム本体の体積のこと。ダムを構成する材料の合計(コンクリートダムならコンクリートの体積)
堤頂長	ていちようちよう	ダム堤頂部における右岸から左岸までの距離のこと

2)ダムの貯水位

ダム用語	読み方	説明
設計洪水位	せつけいこうずいい	発生すると予想されるような最大の洪水(200年に1回程度)が発生した時のダム貯水池の水位のこと
サーチャージ水位	さーちゃーじすいい	英語(Surcharge)の意味は、「過載」とか「オーバーロード」のことで、洪水期に一時的にダム湖に限界まで水を貯める事が出来る水位のこと
常時満水位	じょうじまんすいい	主に利水目的(水道、灌漑、工業用水)として水を使用するため、ダム貯水池に貯める事が出来る最高の水位のこと
最低水位	さいていすいい	ダムの堆砂容量(※以下に説明)を水平であると仮定して、その堆砂の上面の水位のこと
洪水期制限水位	こうずいきせいげんすいい	治水(洪水調節)が目的のダムで一般に定められている水位の事で、洪水期に常時満水位よりも水位を下げて洪水を防ぐために定める水位のこと

3)ダムの容量

ダム用語	読み方	説明
総貯水容量	そうちよすいようりょう	堆砂容量、死水容量、利水容量、洪水調節容量の全てを合計した容量
有効貯水容量	ゆうこうちよすいようりょう	ダム湖の総貯水容量から、堆砂容量、死水容量を除いた容量
洪水調節容量	こうずいちようせつようりょう	サーチャージ水位から洪水期制限水位を引いたものの容量。その容量の範囲内で洪水の調節をします。
利水容量	りすいようりょう	最低水位から常時満水位までの容量で、利水目的毎に分割されます。
堆砂容量	たいさようりょう	一定期間(一般に100年間)にダム貯水地に堆積すると予想される流入土砂を貯める容量